

## アンケート調査の結果まとめ

アンケート調査の結果を集計したところ、以下の状況が明らかになりました。

**・可燃ごみは、野菜等の生ごみ等が一番多い。**

→ 野菜の端材や、買いすぎ、食べ残し等によるものと思われる。

**・食品ロスは、気を付けてはいるが、ある程度は仕方がないと考えている方が多い。**

→ 飽食の時代であるため、個々の意識の問題として捉えるのではなく、社会全体の課題として取り組む必要がある。

**・ごみの分別は、多くの方が「できる」または「だいたいできる」と回答しているが、焼却施設には分別されていないごみが搬入されているのが実情。**

→ 「できる」と思っているが、「できていない」という状況の可能性はある。

**・ごみ分別アプリ「さんあ〜る」を知らない方が、全体の半数以上。**

→ 市の周知不足。

**・全体の8割近くが、生ごみを捨てる際に「水切りを実施している」と回答しているが、市の可燃ごみの重量の約半分は水分というのが実情。**

→ 水切りネット等を経由して廃棄する方は多いと思われるが、ネットを絞ってから廃棄する等、十分に水切りができていないという可能性がある。

**・生ごみ処理機の補助制度を知らない方が、全体の約半数。**

→ 市の周知不足。

**・現在のごみシールは、7割近くの方が「足りている」または「余る」という状況。**

→ 市のシール配付枚数が適量、若しくは、ごみの減量化に努めている方が多いという状況のいずれかではないかと考えられる。

**・環境問題に興味がある方が7割以上。**

→ 興味がある方は多いが、その反面、ごみの量は増加しているという状況。具体的な取り組みの実施には至っていないという方が多い可能性がある。